



平成21年度

町政執行方針と 予算のあらまし

平成21年度の予算が決定しました。
長崎良夫町長の示した執行方針(概要)と予算のあらましを掲載します。

町政執行方針

平成21年第1回洞爺湖町議会
定例会の開会にあたり、私
の町政執行に臨む基本的な姿勢
と取り組む施策の重点について
の考え方を申し上げます。

洞爺湖町誕生から4年目を迎
える本年は、私にとりまして節
目の年であります。就任以来、
「初心を忘れず、公平・公正に
町民の声に耳を傾けながら開か
れた町政の推進」を町政に臨む
基本姿勢として、新町建設計画
に掲げた洞爺湖町の将来像の実
現をめざし、地域の特性、資源
を生かし、農業と漁業を両翼と
し観光を胴体とした町づくりを
推進してまいりました。

この間、虻田地区と洞爺地区
の垣根が取り払われ、さらに相
互交流が深まり、町内融和が進
んでおりますことは、誠に喜ば
しいかぎりであります。合併時
の多くの課題も着々と解決に向
かっており、町民の皆様及び町
議会議員の皆様の温かいご支援
に深く感謝申し上げる次第であ
ります。

厳しい財政事情の中
での町づくり

さて、世界の経済情勢は、ア
メリカのサブプライム問題を発
端に世界的な金融不安が広がり、
株価が暴落し、歴史的な金融恐
慌に発展しております。

国内においても、輸出関連企
業を中心に軒並みに、今期決算
を減益修正し、底の知れない経
済不況と深刻な雇用不安を巻き
起こしております。

道内においても、丸井今井の
破綻をはじめ道内企業の生産活
動は停滞し、個人消費は冷え込
み、道内景気は益々厳しい状況
となっております。

本町にとりまして、北海道
洞爺湖サミットの成功により、
大きく期待した観光客の入り込
みも昨年から落ち込み、本年
に入っても減少傾向は続いてお
り、憂慮される状況となってお
ります。

このような状況の中、地方自
治体運営は益々厳しさを増して
おり、地方税の減収や地方交付
税の減額、社会保障費のさらな

る負担増、広がる地域格差など、
困難な課題は山積しております
が、危機意識を町民と共有し、
力を合わせて将来への展望を見
据えながら郷土の町づくりを推
進してまいりたいと存じます。

町政に臨む 基本方針

直面する大きな課題は、財政
運営であります。

地方公共団体の財政の健全化
に関する法律の施行により、実
質公債費比率の基準を超える本
町は、早期健全化団体に指定さ
れることが確実であります。

平成20年度決算をもって判断
されることから、健全化計画を
作成し、専門家の外部監査を受
け、町議会の議決を経て、国に
提出することになりますが、本
町にとって厳しい計画になるこ
とは必至であります。

人件費をはじめ義務的経費の
さらなる削減、税や受益者負担
などの歳入の見直し、行政サー
ビスの見直しなど、健全化にい
たるまでの期限を決めた大胆な
改革が必要であり、このような
非常に困難な状況を乗り切るた
めにも、行財政改革の強力な推
進について、町民各位の一層の